

委託事業実施内容報告書

平成23年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業

【日本語教室の設置運営】

受託団体名 輪島市

1 事業の趣旨・目的

現在輪島市では市中心部において、昨年度実施した日本語講師養成講座の受講生により日本語教室が運営されている。今回、門前と町野の2地区において出前講座という形で日本語教室を開催し、市中心部以外に住む外国人にも参加していただき、家族や地域との円滑なコミュニケーション能力を身につけてもらうことを目的とする。

2 運営委員会の開催について

【概要】

開催日時	開催場所	出席者	議題	会議の概要
6月23日	輪島市役所 会議室	今井武 伊藤三津子 木下伸一 大西香織 岡山貴幸 園又泉	出前講座の実施について	・開始時期、時間、回数、場所、1回あたりの講師の数について協議 ・受講者の募集方法、特に企業への案内について協議 ※日本語講師養成講座運営委員会と併催
9月15日	輪島市役所 会議室	今井武 伊藤三津子 木下伸一 七浦禎蓮 大西香織 園又泉	出前講座の授業内容及び運営全般について	・受講申込の状況報告及び今後の見込みについて協議 ・託児室の設置、保険加入について協議 ・担当講師の決定 ・カリキュラム、使用教材、講座の進め方について協議 ※日本語講師養成講座運営委員会と併催

12月8日	輪 島 市 役 所 会議室	今井武 伊藤三津子 木下伸一 大西香織 園又泉	事業の実施をと おし て	・事業実施地区に住む外国人の状況の確認 ・実施にあたっての反省 ・今後の課題の確認 ※日本後講師養成講座運営委員会と併催
-------	------------------	-------------------------------------	--------------------	---

【写真】



6月23日開催 運営委員会



9月15日開催 運営委員会

3 日本語教室の開催について

- ① 講座名 在住外国人のための日本語教室・出前講座
- ② 開催場所 輪島市立門前公民館・輪島市立町野公民館
- ③ 学習目標 在住外国人に輪島市民と触れ合い、日本語を使ってみる場を提供し、地域についてより知ってもらう機会を創出し、基本的な日本語でのコミュニケーション能力を身につけてもらう。
- ④ 使用した教材・リソース
 - ・「にほんごこれだけ！1」、「にほんごこれだけ！2」、「にほんご宝船」
 - ・講師が準備したオリジナル教材
 - ・地図、雑誌、地区広報、写真等
- ⑤ 受講者の募集方法
 - ・輪島日本語教室サポーターを通して周知
 - ・新聞折込広告に募集記事を掲載
 - ・外国人雇用企業への案内
 - ・公民館への募集チラシの設置
 - ・スーパー、商店等への募集ポスターの掲示
- ⑥ 受講者の総数 16人

(出身・国籍別内訳 中国 13人、フィリピン3人)

⑦ 開催時間数(回数) 40時間 (全 20回)

⑧ 日本語教室の具体的内容

●門前地区

回	開催日時	時間数	参加人数	国籍・母語 (人)	教授者・補助者人数	内容
①	9月26日 19:00~21:00	2時間	4人	中国・中国語(2人) フィリピン・タガログ語(2人)	教授者3人 補助者4人	・自己紹介 ・「にほんごこれだけ!」第0~2課を教材とした相互交流型授業
②	9月28日 19:00~21:00	2時間	4人	中国・中国語(2人) フィリピン・タガログ語(2人)	教授者3人 補助者4人	・「にほんごこれだけ!」第3課「わたしのいちにち」を教材とした相互交流型授業
③	10月5日 19:00~21:00	2時間	3人	中国・中国語(2人) フィリピン・タガログ語(1人)	教授者3人 補助者3人	・「にほんごこれだけ!」第4課「まちのじょうほういろいろ」を教材とした相互交流型授業
④	10月12日 19:00~21:00	2時間	3人	中国・中国語(2人) フィリピン・タガログ語(1人)	教授者3人 補助者3人	・「にほんごこれだけ!」第5課、「にほんごこれだけ!2」第1課「りょうこう」を教材とした相互交流型授業
⑤	10月19日 19:00~21:00	2時間	3人	中国・中国語(2人) フィリピン・タガログ語(1人)	教授者3人 補助者3人	・「にほんご宝船」第19話「今まででいちばん」を教材とした相互交流型授業
⑥	10月26日 19:00~21:00	2時間	4人	中国・中国語(3人) フィリピン・タガログ語(1人)	教授者3人 補助者3人	・「にほんご宝船」第17話「最近、どんなことがあった?」を教材とした相互交流

						型授業
⑦	11月2日 19:00～21:00	2時間	4人	中国・中国語（3人） フィリピン・タガログ語（1人）	教授者3人 補助者2人	・「にほんご宝船」第20話「風邪をひいたら？」を教材とした相互交流型授業
⑧	11月9日 19:00～21:00	2時間	3人	中国・中国語（2人） フィリピン・タガログ語（1人）	教授者3人 補助者2人	・「にほんご宝船」第22話「料理…おいしい食べ物!」を教材とした相互交流型授業
⑨	11月16日 19:00～21:00	2時間	3人	中国・中国語（2人） フィリピン・タガログ語（1人）	教授者3人 補助者2人	・アンケートの記入 ・生徒のニーズにあわせた個別授業
⑩	11月30日 19:00～21:00	2時間	3人	中国・中国語（2人） フィリピン・タガログ語（1人）	教授者3人 補助者7人	・お茶会の開催を教材とした相互交流型授業

●町野地区

回	開催日時	時間数	参加人数	国籍・母語（人）	教授者・補助者人数	内容
①	10月18日 19:00～21:00	2時間	6人	中国・中国語（5人） フィリピン・タガログ語（1人）	教授者3人 補助者4人	・自己紹介 ・「にほんごこれだけ1!」第0～1課を教材とした相互交流型授業
②	10月25日 19:00～21:00	2時間	8人	中国・中国語（7人） フィリピン・タガログ語（1人）	教授者3人 補助者4人	・「にほんご宝船」第17話「最近、どんなことがあった？」を教材とした相互交流型授業
③	11月1日 19:00～21:00	2時間	4人	中国・中国語（4人）	教授者3人 補助者5人	・「にほんご宝船」第22話「料理…おいしい食べ物!」を教材とした相互交流型授業
④	11月8日 19:00～21:00	2時間	4人	中国・中国語（4人）	教授者3人 補助者2人	・「にほんご宝船」第19話「今まででいちばん」を教材とした

						相互交流型授業
⑤	11月15日 19:00～21:00	2時間	3人	中国・中国語(3人)	教授者3人 補助者5人	・「にほんご宝船」第20話「風邪をひいたら？」を教材とした相互交流型授業
⑥	11月22日 19:00～21:00	2時間	2人	中国・中国語(2人)	教授者3人 補助者5人	・「にほんごこれだけ!2」第13課「たからくじ」を教材とした相互交流型授業
⑦	11月29日 19:00～21:00	2時間	2人	中国・中国語(2人)	教授者3人 補助者1人	・「にほんご宝船」第30話「ファッション!オシャレ!」を教材とした相互交流型授業
⑧	12月6日 19:00～21:00	2時間	3人	中国・中国語(3人)	教授者3人 補助者4人	・「にほんご宝船」第45話「The 結婚式」を教材とした相互交流型授業
⑨	12月13日 19:00～21:00	2時間	3人	中国・中国語(3人)	教授者3人 補助者4人	・「にほんご宝船」第26話「慣用句」を教材とした相互交流型授業
⑩	12月20日 19:00～21:00	2時間	4人	中国・中国語(4人)	教授者3人 補助者5人	・お茶会の開催を教材とした相互交流型授業

⑨ 特徴的な授業風景(2～3回分)

- ・毎回のメインサポーター(教授者)を予め3名決め、授業のテーマや教材決め、進行を担当する。その他のサポーターはボランティアで生徒のサポートに回る。
- ・授業のテーマは主に教材「にほんご宝船」を利用し、学習者1～2名にサポーター2～3名が付いたグループで相互交流型授業を行う。テーマにより導入や、学習者同士の交流など、教室全体での活動も取り入れ授業を行う。
- ・講座の中盤以降になると学習者より学びたい事についての要望も出てきたことから、グループでの個別学習を取り入れた。



10月18日 授業の様子



10月18日 グループでの授業

4 事業に対する評価について

① 当初の学習目標の達成状況

- ・アンケートでは「日常生活での交流も少し増え、それと同時に日本の生活習慣や風習のについても理解が増えた」、「日本語はまだまだですが、話せる勇気をもらった」、「友達がいっぱいできました」などの意見があり、「楽しかったか」、「役に立ったか」という質問に対しては、全ての回答者が「とてもそう思う」「まあそう思う」と回答している。

② 学習者の習得状況

- ・教室の回数が進むにつれて、グループでの指導や教室全体でのサポートにより、学習者に勉強しようという意欲がみえるようになった。
- ・学習者の学びたい事について、個別学習という形で要望に応えた。

③ 日本語教室設置運営の効果, 成果

- ・地域の在住外国人に日本語を学習する場を提供でき、日本語でのコミュニケーション能力の向上をはかることができた。
- ・学習者の地域への関心や日本語学習意欲を高めることができた。

④ 地域の関係者との連携による効果, 成果 等

- ・企業との連携により、企業研修生に参加していただくことができ、企業側の要望もいづらか教室のカリキュラムに反映することができた。
- ・輪島市に在住外国人のための日本語教室ができて日も浅く、存在を知らない方も多い。今回の講座により、教室に協力して下さる方を増やすことができ、また、公民館だよりに教室を紹介していただく等、「日本語教室」の存在を多くの方に周知できた。

⑤ 改善点, 今後の課題について

a. 現状

- ・講師の数も限られており、今後も同じような形態で市内で3箇所(市中心部・門前・町野)の日本語教室を運営して行くには、講師への負担が大きい。

b. 今後の課題

- ・本講座の開講前に、輪島市日本語講師養成スキルアップ講座を開設し、講師の数は増加したが、市中心部から離れた地域では少ない。

- ・その地区に暮らす外国人の状況や学習要望、地域の企業や公民館との間にできたつながりをどのように今後の活動に反映し、活かしていくか。

c. 今後の活動予定, 展望

- ・地区公民館とのより密接な連携等により、在住外国人が日本語でのコミュニケーションをとる機会を創設できるか検討していく。